

『日本人馬賊王』	小日向白朗	第二書房	1957
『馬賊戦記上・下』	朽木寒三著	番町書房	1975
『馬賊王小白竜父子二代 ある残留孤児の絶筆秘録』	小日向明朗／近藤昌三訳	朱鳥社	2005
『日本軍の金塊一馬賊王・小日向白朗の戦後秘録』	関浩三著	学研	2013
『馬賊一日中戦争史の側面』	渡辺龍策著	中公新書	1964
『馬賊で見る「満洲」』	澁谷由里著	講談社選書メチエ	2004
『馬賊頭目列伝』	渡辺龍策著	秀英書房	1983
『ドキュメント日本人6 アウトロウ』	谷川健一・鶴見俊輔・村上一郎責任編集	学芸書林	1968
『キメラ満洲国の肖像（増補版）』	山室信一著	中公新書	2004
『満洲国演義（全9巻）』	船戸与一	新潮社	2007
『偽満洲国論』	武田徹	中公文庫	2005
『実録満鉄調査部（上・下）』	草柳大蔵	朝日新聞社	1983
『謀略の昭和裏面史（新装・改訂版）』	黒井文太郎編著	宝島社	2011
『日本の地下水脈』	岩川隆	光文社	1983
『日本近現代史入門一黒い人脈と金脈』	広瀬隆	集英社インターナショナル	2016
『日中アヘン戦争』	江口圭一	岩波新書	1988
『上海にて』	堀田善衛	ちくま学芸文庫	1995
『上海スクランブル』	伴野朗	徳間文庫	1990
『大本营参謀は戦後何と戦ったのか』	有馬哲夫	新潮選書	2010
『阿片王一満洲の夜と霧』	佐野真一	新潮社文庫	2008
『甘粕正彦 乱心の曠野』	佐野真一	新潮社	2008
『近衛文麿と日米開戦』	川田稔	祥伝社新書	2019
『重臣たちの昭和史上・下』	勝田龍夫	文藝春秋	1981
『潜行三千里（完全版）』	辻政信	毎日ワンス	2019
『日本の右翼と左翼がわかる本』	別冊宝島編集部	宝島社	2016
『右翼・ナショナリズム伝説』	松本健一	河出書房新社	1995
『腐蝕の系譜』	吉原公一郎	三省堂	1976
『日本の黒幕100の名言』	別冊宝島	宝島社	2017
『児玉誉士夫 巨魁の昭和史』	有馬哲夫	文春新書	2013
『追跡・M資金 東京湾金塊引揚げ事件』	安田雅企	三一書房	1995
『国税局査察部・児玉誉士夫のダイヤモンド』	立石勝規	徳間書店	1996
『統治者の条件－日本人は何をなすべきか』	田中清玄	情報センター出版局	1983
『世界を行動する』	田中清玄	情報センター出版局	1983
『田中清玄自伝』	田中清玄	文藝春秋	1993
『巨人出口王仁三郎』	出口京太郎	講談社	1967
『血と抗争- 山口組ドキュメント』	溝口敦	三一書房	1968
『日中国交正常化』	服部龍二	中公新書	2011
『中国一キッシンジャー回想録』	ヘンリー・キッシンジャー	岩波書店	2012
『秘密解除ロッキード事件一田中角栄』	奥山俊宏	岩波書店	2016
『冤罪 田中角栄とロッキード事件の真相』	石井一	産経新聞出版	2016
『ロッキード疑獄 角栄ヲ葬リ巨悪ヲ逃ス』	春名幹男	角川書店	2020
『ロッキード』	真山仁	文藝春秋	2021
『文明論之概略』	福沢諭吉	岩波書	1997
『三酔人経論問答』	中江兆民	岩波書店	1965
『東洋の理想』	岡倉天心	講談社学術文庫	1986
『現代日本思想大系9 アジア主義』	竹内好編	筑摩書房	1963
『竹内好「日本のアジア主義」精読』	松本健一	岩波書店	2000
『アジア主義一西郷隆盛から石原莞爾へ』	中島岳志	潮文庫	2017
『増補 アジア主義を問い直す』	井上寿一	ちくま学芸文庫	2016
『アジア主義思想と現代』	長谷川雄一	慶應義塾大学出版会	2014
『思想課題としてのアジア』	山室信一	岩波書店	2001
『ユーラシアの岸辺から』	山室信一	岩波書店	2003